

令和8年度 義務年限内の自治医科大学卒業医師の要望状況【内科系総合医】

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)	
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7
		安来市	安来市立病院 (148床)	1			0	1

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)																																																																													
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7																																																																												
安来市	安来市立病院 (148床)	前ページからの続き			<p>○常勤医師数 (過去5年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師数</td> <td>12名</td> <td>11名</td> <td>10名</td> <td>7名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>うち総合内科</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来患者数</td> <td>51,667人</td> <td>52,566人</td> <td>49,457人</td> <td>47,907人</td> </tr> <tr> <td>うち総合内科</td> <td>1,198人</td> <td>2,597人</td> <td>4,677人</td> <td>4,858人</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>38,497人</td> <td>37,883人</td> <td>37,096人</td> <td>39,668人</td> </tr> <tr> <td>うち総合内科</td> <td>4,127人</td> <td>8,076人</td> <td>14,823人</td> <td>19,558人</td> </tr> <tr> <td>訪問診療 (往診含む)</td> <td>91件</td> <td>493件</td> <td>508件</td> <td>499件</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数</td> <td>406件</td> <td>467件</td> <td>460件</td> <td>554件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○連携先介護事業所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象施設</th> <th>施設数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">連携協力</td> <td>特別養護老人ホーム</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>グループホーム</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>介護医療院</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">協力医療機関</td> <td>特別養護老人ホーム</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>養護老人ホーム</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療機関 (開業医)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>介護医療院</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>		R3	R4	R5	R6	R7	医師数	12名	11名	10名	7名	7名	うち総合内科	1名	1名	2名	2名	2名	項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	外来患者数	51,667人	52,566人	49,457人	47,907人	うち総合内科	1,198人	2,597人	4,677人	4,858人	入院患者数	38,497人	37,883人	37,096人	39,668人	うち総合内科	4,127人	8,076人	14,823人	19,558人	訪問診療 (往診含む)	91件	493件	508件	499件	救急搬送件数	406件	467件	460件	554件	区分	対象施設	施設数	連携協力	特別養護老人ホーム	2	グループホーム	2	介護医療院	1	介護老人保健施設	1	協力医療機関	特別養護老人ホーム	2	養護老人ホーム	1	医療機関 (開業医)	1	介護医療院	1	合計		11		
			R3	R4	R5	R6	R7																																																																													
医師数	12名	11名	10名	7名	7名																																																																															
うち総合内科	1名	1名	2名	2名	2名																																																																															
項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																																																
外来患者数	51,667人	52,566人	49,457人	47,907人																																																																																
うち総合内科	1,198人	2,597人	4,677人	4,858人																																																																																
入院患者数	38,497人	37,883人	37,096人	39,668人																																																																																
うち総合内科	4,127人	8,076人	14,823人	19,558人																																																																																
訪問診療 (往診含む)	91件	493件	508件	499件																																																																																
救急搬送件数	406件	467件	460件	554件																																																																																
区分	対象施設	施設数																																																																																		
連携協力	特別養護老人ホーム	2																																																																																		
	グループホーム	2																																																																																		
	介護医療院	1																																																																																		
	介護老人保健施設	1																																																																																		
協力医療機関	特別養護老人ホーム	2																																																																																		
	養護老人ホーム	1																																																																																		
	医療機関 (開業医)	1																																																																																		
	介護医療院	1																																																																																		
合計		11																																																																																		

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)	
		要望 ①	派遣	要望 ②			R 6	R 7
安来市	安来第一病院 (330床)	2	0	2	<p>安来第一病院は、外来20診療科を標榜し、許可病床は一般科184床（地域包括ケア病棟、回復期リハ病棟、療養病棟）精神科146床の計330床です。常勤医師は、一般科12人、精神科6人、計18人です。</p> <p>当院は、脳血管疾患、大腿骨骨折など松江市内、鳥取西部地域での急性期治療後の患者様の早期受入れ、高齢者や軽度の救急患者様の受入れ、地域で療養中の患者様の増悪時の受入れを強化しています。最近では、認知症などの精神疾患と身体合併症を伴う患者様の受入れが増えており、一般科医師と精神科医師の併診が増加している状況です。</p> <p>令和6年度 外来患者数 77,540人（1日平均265.8人）  うち一般科 50,415人（1日平均172.3人）  入院患者数 108,989人（1日平均298.6人）  うち一般科 59,313人（1日平均162.5人）</p> <p>1) 現状の課題  (1) 救急告示病院として  当院は、安来地域の不足医療を解消するため、2020年に救急告示病院の認定を受けております。島大、鳥大病院等の救急科の医師の支援を受け、体制を強化し対応しております。5年が経過し、2020年度236件から2024年度424件に増加しています。搬送患者様の年代をみますと70歳以上の方の受入れが7割を占めています。診療時間外（救急搬送以外）の対応件数は、2024年度704人であり、発熱患者様等、可能な限り受入れを行っています。</p> <p>法人内および関連法人の介護保健施設等は18施設と多く、救急搬送のみならず診療時間内、診療時間外の対応を求められます。また、在宅療養後方支援病院でもあり、自宅で療養中の患者様への対応も求められます。さらに診療報酬改定により「下り搬送」が進められますが、立地条件も松江市・米子市の急性期病院に近く、移動が短時間であることを考慮するとかなり利用していただきやすいと考えます。</p> <p>しかし、現状では一般科の医師は、常勤12名の体制ではありますが、内科系の医師は7名のうち当直が可能な医師は3名であり、時間外の外来診療、入院等に充分対応できておらずお断りも発生している状況です。このような状況から内科系総合医の着任により、受入れの増加、さらに受入れ後のスムーズな治療が可能になると考えます。</p> <p>(2) 在宅医療・訪問診療への対応  患家、施設への訪問診療を求められますが、医師の退職や外来診療・入院対応により現状の体制では訪問診療等に充分対応できていません。法人内の訪問看護師の増員はできましたが、医師の体制が整わず、急な往診を求められるがん患者様への対応、在宅での看取り患者様への対応は今年度できていない状況です。新規の依頼はありますが、お断りすることも増えています。現在は需要に対応できていない状況です。</p> <p>総合医の体制が整えば、今後増える在宅や施設への訪問診療、往診に対応でき、来院しにくい地域住民の医療を受ける機会を確保できることにつながると考えます。</p> <p>訪問診療、往診件数  令和3年度 485件  令和4年度 369件  令和5年度 262件  令和6年度 195件</p>	II	18	19

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)																																								
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7																																							
安来市	安来第一病院 (330床)	前ページからの続き			<p>(3) 精神疾患と身体疾患を合わせもつ患者様の増加 近年、高齢者で認知症などの精神疾患と誤嚥性肺炎などの身体疾患を合わせもつ患者様の精神科入院が増加しています。不穏などのため精神症状への対応を主としつつ、身体疾患の管理も求められ、精神科医だけでなく内科系の医師が併診しています。精神科入院患者様においても内科系医師の対応が増加しています。</p> <p>(4) 医師の高齢化 近年、師の高齢化が顕著となっております。高齢医師の勤務日数・勤務時間の減少、病欠等が増えています。現在、一般科常勤医12名中60歳以上が5名と42%です。宿直においても常勤医4名と限られた医師のみが対応している状況です。 大学病院からの各診療科の医師派遣の支援を受けていますが、入院対応が困難であり、常勤医が必要と考えます。また、誤嚥性肺炎など専門治療を必要としない患者様が増加しており、内科系総合医が適切と考えます。</p> <p>常勤医の年齢構成 (単位 名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>30歳代</th> <th>40歳代</th> <th>50歳代</th> <th>60歳代</th> <th>70歳代</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般科</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>うち内科系</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 診療所の事業承継「もりわきクリニック」の開設 2025年4月に市内の診療所を承継し、「もりわきクリニック」を開設しました。新たに医師1名を採用し、地域住民への医療提供を継続して行っております。1日約40名の患者様の受診があります。安来第一病院より薬剤師、看護師、事務職員を派遣しております。医師を新規に採用できましたが、現在週4日勤務の医師と非常勤医師の体制であり、両医師とも69歳、80歳代と高齢であり後継の医師を確保する必要もあります。医師について安来第一病院からの派遣も検討していかなければならない状況です。</p> <p>2) 現在の当院の体制等</p> <p>(1) リハビリテーション体制の強化 治療とともにリハビリテーションを提供しています。法人内にPT、OT、STを138名擁しています。外来はもとより入院直後からのリハビリを実施し、早期退院を支援しています。365日のリハビリ体制をとっています。</p> <p>(2) 認知症疾患医療センター 島根県から指定を受け、認知症の診断や初期対応、相談、鑑別診断など治療を行っています。</p> <p>認知症に関する相談件数および鑑別診断件数 (単位 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>565</td> <td>592</td> <td>633</td> </tr> <tr> <td>鑑別診断件数</td> <td>212</td> <td>239</td> <td>273</td> </tr> </tbody> </table>		30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計	一般科	1	1	5	3	2	12	うち内科系	0	0	4	2	1	7	精神科		1	1	2	2	6		令和4年度	令和5年度	令和6年度	相談件数	565	592	633	鑑別診断件数	212	239	273		
	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計																																									
一般科	1	1	5	3	2	12																																									
うち内科系	0	0	4	2	1	7																																									
精神科		1	1	2	2	6																																									
	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																												
相談件数	565	592	633																																												
鑑別診断件数	212	239	273																																												



市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)	
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7
		飯南町	町立飯南病院 (48床)	2			1	2

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)	
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7
川本町	社会医療法人 仁寿会 加藤病院 (81床)	1	0	1	別紙のとおり	II	10	9
邑南町	公立邑智病院 (98床)	3	2	3	<p>公立邑智病院は邑智郡内唯一の救急告示急性期病院として、邑智郡に不可欠の社会インフラとなっています。高度医療、救命救急医療などを除く、急性期医療の8割を地域内完結することを目標に、各診療科が「相互支援」「相互指導」のもと、できるだけ専門分野にとらわれない診療を行っております。また、高度急性期病院から診療所・在宅までを繋ぐ中間的な医療機関として、また邑智郡地域連携推進協議会の事務局として郡内83機関の会議を主催する等、病病連携や病診連携、介護福祉施設との連携強化を図っております。</p> <p>当院の内科は平成26年4月から総合診療科と広告し、プライマリケアから上部・下部消化管の内視鏡検査をはじめ、透析管理など幅広い診療や保健予防活動の分野においても重要な位置づけとなっており、年々需要が増しているところです。令和3年度からは、外科医が1名減ったことに伴い、外科外来を総合診療科医師が週1回担当するなど、小外科診療も守備範囲となっております。</p> <p>診療所の支援については、国保矢上診療所の宮本医師が令和2年度から当院で週1回内視鏡検査を行っており、その代診として当院医師が矢上診療所へ診療に出かけています。宮本医師が不在時（休暇、出張）にもスポット派遣を行うなど診療所業務の代診を担っています。また、美郷町国民健康保険直営大和診療所へもスポット派遣を行うこともあります。</p> <p>また、昨年9月末で邑南町市木の上田医院が閉院され、10月から公立邑智病院附属市木診療所として開所いたしました。週3日(月・水・金曜日)午後の診療ではございますが、医師、看護師、医師クラーク、事務員チームで診療にあたっています。多い日は50名弱の患者さんが来所している状況です。この市木診療所には、邑智郡内だけでなく、隣接する浜田市からの患者も多く来所され、診療所として今後も診療継続が不可欠であると考えています。更に、今年度末で地域の開業医が1名診療所を廃院されることとなりました。これに伴い、当院への患者数が増加すること、学校医等の業務が増加することが見込まれます。今後も邑智郡内診療所の業務継続が困難になる場合は、郡立病院として積極的に支援を行って参りたいと考えています。</p> <p>来年度から地元邑南町出身の医師が当院へ着任する予定となり、総合診療科は1名増員いたします。しかしながら、総合診療医師が通常診療、代診、研修派遣とフレキシブルに働けるよう、7名の総合医を確保する目標を立てているので、今年度もこれまでと同様3人の要望をさせていただきます。</p> <p>教育体制としては、98床の急性期及び地域包括ケア病棟を備えた、地域で唯一の急性期救急病院であることから、幅広い疾患を経験することができ、総合診療医が活躍できる地域であると考えています。更に、内視鏡業務においては、地域で開業されている三上医師の支援・指導も受けており、専門医の技術を学ぶことができます。また、内科系総合医のほか、小児科、産婦人科、整形外科、泌尿器科、麻酔科の医師が1名ずつ常勤で勤務しているため、必要に応じて上記の専門医コンサルティングできる環境であることも当院の魅力の1つだと捉えています。</p> <p>常勤医の助け合いにより、若手医師が月2回程度の院外研修（内視鏡・救命救急）することも可能です。</p>	I	11	11

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)	
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7
邑南町	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">前ページからの続き</div> 公立邑智病院 (98床)				<p>島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院等の島根県内の基幹病院及び東京科学大学医学部附属病院の総合診療専門プログラム、内科専門プログラムへの協力施設であり、都市部の大学からも期待される教育施設としての負託にこたえるべく努力する所存であります。現在の運営状況として、許可病床98床の令和6年度病床稼働率は90.5%、うち平成26年10月から届け出ている地域包括ケア病床41床の病床稼働率は101.1%と高稼働となりました。</p> <p>【令和6年度データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合診療科外来患者数 145,535人</li> <li>・救急受け入れ患者数 3,449人 (うち救急車910人)</li> <li>・内視鏡検査 1,208件</li> </ul> <p>以上のことから、自治体病院として地域住民の負託に応える医療機能を永続するために、総合診療外来2診、診療所派遣、外科外来、入院管理、内視鏡検査、透析管理、2次救急、当直、代診派遣の体制を継続するには、最低7名の内科系総合医が不可欠であり、うち3名の医師派遣を要望します。</p>			
江津市	島根県済生会 江津総合病院 (172床)	2	0	2	<p>当院は江津市をはじめ、近隣の市町村から多くの患者さまが受診されており、その大半を高齢者が占めています。当地域では高齢化が一層進行しており、複数の慢性疾患を抱える方が増加しています。そのため、一度入院されると在宅復帰までに長期的な支援・調整を要するケースが多くなっており、</p> <p>このような地域特性の中で、疾患横断的に診療を行い、急性期から在宅まで切れ目のない医療を提供できる総合診療医の役割は、今後ますます重要となっています。</p> <p>当院では現在、総合診療科を立ち上げ、循環器科・消化器科と連携しながら内科系全般の診療を担っております。また、救急外来、一般急性期病棟、包括ケア病棟、療養病棟、介護医療院を運営し、地域の急性期および回復期医療を支えています。しかしながら、患者数の増加（昨年度比4-9月 外来患者+2,264名）や高齢化に伴う医療需要の多様化により、医師の業務負担は増大しております。さらに、常勤医15名のうち70代が2名、60代が3名、50代が3名と全体の半数以上が50歳代以上を占めており医師の高齢化が進行しています。人員不足とあわせて将来的な体制維持も深刻な課題となっております。今後、地域の人口減少とさらなる高齢化が進むことが予想される中で、在宅支援や地域包括的な医療提供体制の強化は喫緊の課題です。また、2026年度には同一敷地内に50床規模の介護老人保健施設の移設が予定されており、医療・介護連携の一層の充実が求められています。</p> <p>これらの状況を踏まえ、地域に根ざした総合的な医療を継続的に提供していくためには、総合診療医の派遣による人的支援が不可欠です。現状のままでは地域医療体制の維持が困難となるおそれがあり、地域住民の安心・安全な生活を守るためにも、ぜひとも総合診療医（内科系総合医）の派遣についてご高配を賜りたくお願い申し上げます。</p>	Ⅱ	12	15

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)	
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7
		江津市	西部島根医療 福祉センター (112床)	1			0	1

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)	
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7
江津市	西部島根医療福祉センター (112床)				<p>前ページからの続き</p> <p>●医師派遣事業 当センターは、乳幼児の小児神経疾患及び整形外科疾患の早期発見を目的とし、乳児健診を始めとする医師派遣事業を島根県西部圏域で実施している。令和4年度から浜田市からの要望により同市への医師派遣を開始したが、医師の退職や小児科の予約待ちの状況を緩和するため、医師派遣事業をお断りせざるを得ない状況である。</p> <p>●その他 内科系医師不在により併設している障害者支援施設の嘱託医の業務、当直業務等を常勤の整形外科医及び小児科医、小児外科医で行っており、医師個々の負担はさらに高まっている状況にある。また、当直業務を常勤医師5名と非常勤医師で対応しており、常勤医師にかかる負担は相当なものである。</p> <p>令和6年4月には、小児外科の常勤医師が採用となったが、診療・教育・研究・地域連携の推進を目的とし、クロスアポイントメント契約を提携し週3日は大学勤務となっている。 令和8年度当初から期限付医師1名の医師派遣の状況が不透明であり、場合によっては常勤医師1名で入院患者を対応せざるを得ない可能性もある。 入所利用者の約9割が成人の障害者であり、循環器、消化器、運動器、てんかん、痙縮等多岐に渡る診療が必要であるため、内科医、特に総合診療医が必要である。 今回派遣をいただいた場合、地域における外来診療や入院の重症児者への総合的な診療、併設施設の嘱託医、当直業務に対応していただくことにより、小児科の予約待ちの問題の緩和、安定した地域医療の提供、当センターの果たすべき役割である障害児者への充実した専門医療の提供、そして乳児健診を始めとする医師派遣事業の充実した提供が可能となる。</p>			
浜田市	国民健康保険診療所連合体 (波佐・あさひ・弥栄・大麻)	1	1	1	<p>令和4年度から義務年限内自治医科大学卒業医師を派遣していただいたことについて、厚くお礼申し上げます。浜田市国民健康保険診療所連合体は、中山間地域の医療を確保するため、4つの診療所（大麻診療所、波佐診療所、あさひ診療所、弥栄診療所）を運営しています。</p> <p>令和3年度までは5名の医師（常勤2名、任期付職員2名、県派遣1名）で診療にあたっておりましたが、令和4年度にはその中心的役割を担っていた医師が定年退職し、常勤からパートへ変更したことに伴う勤務時間減少があり、また令和5年度末にはパート勤務も辞められ、義務年限内自治医科大学卒業医師の派遣のほか、各所へ代診医派遣により、医療体制が維持できています。</p> <p>中山間地域の医療の確保はもちろんのこと、当市の保健・医療・福祉の課題解消に向けた各種行政施策への参画や、将来の地域医療を担う人材育成など、この連合体の果たすべき役割は大変重要であります。働き方改革が進む中、医師への負担は増加しております。そうした中でも早期の医師確保が喫緊の課題となっておりますので、常勤医確保に向けては精力的に活動を行っているところです。</p> <p>医師の派遣をしていただくことで、全国的にも先進的な取組みであるグループ診療の良さを生かすことが出来ればさらなる人材育成にもつながり、派遣いただいた医師の技術向上にも寄与できるものと考えますので、派遣継続について強く要望いたします。</p>	I	4	4

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)																					
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7																				
浜田市	国民健康保険 診療所連合体 (波佐・あさ ひ・弥栄・大 麻)				<p>前ページからの続き</p> <p>&lt;施設別一日当たりの診療件数及び診療日数（令和6年度）&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>診療件数(延べ) ①</th> <th>診療件数 ①÷②</th> <th>診療日数②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険大麻診療所</td> <td>79件</td> <td>3.3件</td> <td>24日</td> </tr> <tr> <td>国民健康保険波佐診療所</td> <td>3,586件</td> <td>13.6件</td> <td>264日</td> </tr> <tr> <td>国民健康保険あさひ診療所</td> <td>6,019件</td> <td>22.9件</td> <td>263日</td> </tr> <tr> <td>国民健康保険弥栄診療所</td> <td>5,395件</td> <td>20.8件</td> <td>260日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※診療日数は半日診療も1日としてカウントしている</p>	施設名	診療件数(延べ) ①	診療件数 ①÷②	診療日数②	国民健康保険大麻診療所	79件	3.3件	24日	国民健康保険波佐診療所	3,586件	13.6件	264日	国民健康保険あさひ診療所	6,019件	22.9件	263日	国民健康保険弥栄診療所	5,395件	20.8件	260日			
施設名	診療件数(延べ) ①	診療件数 ①÷②	診療日数②																									
国民健康保険大麻診療所	79件	3.3件	24日																									
国民健康保険波佐診療所	3,586件	13.6件	264日																									
国民健康保険あさひ診療所	6,019件	22.9件	263日																									
国民健康保険弥栄診療所	5,395件	20.8件	260日																									
益田市	益田地域医療 センター 医師会病院 (253床)	3	0	3	<p>益田地域医療センター医師会病院は、益田圏域の急性期から回復期、慢性期、在宅医療支援までの幅広い機能を有し、地域医療拠点病院として、長年、益田市医師会員の協力も得ながら、圏域内の無医地区への巡回診療（令和6年度実績 計200日）を継続し、現在、計7カ所の無医地区への巡回診療を実施しています。また、応援診療として、津和野共存病院へ週一回の整形外科医の派遣（令和6年度実績 計49日）や、国保知夫診療所への宿日直代診の派遣（令和6年度実績 計40日）等を行っており、地域医療を維持するため不可欠な機能を継続して担っています。</p> <p>また、当院は医師会立病院の特性を生かし、地域のかかりつけ医との強固な連携の元、地域医療支援病院（令和6年度実績 紹介率86.4%・逆紹介率102.5%）として、また、圏域独自の地域包括ケアシステム推進においても在宅医療後方支援病院（登録患者数36名／令和7年10月現在）として、圏域の医療提供体制に重要かつ不可欠な役割を果たしていると自負しています。</p> <p>一方で、当院の医師数は最盛期（平成24年）の19名より年々減少し、現在11名の常勤医でこの病院機能を支えています。常勤医の高齢化も顕著であり平均年齢は58.6歳、11名のうち5名は60歳を超え、宿日直ができる医師も5名しかおらず、非常勤医師や島根大学からの派遣に頼らざるを得ない状況です。このような状況下において、独自の医師確保対策として平成30年より医師会員の協力を得て開始した、へき地・離島で活躍を目指す若手医師の育成プロジェクト「親父の背中プログラム」によって、辛うじて毎年1～2名の医師の確保はできていますが、勤務年数を限定した循環型プログラムのため非常に不安定な状況であることに変りありません。令和6～7年度は新規採用がなく、島根大学医局をはじめとした関連大学への要請や、人材コンサルティング会社の活用など不断の努力を重ねておりますが、現時点で確保につながっていないのが実情であり、このまま医師確保が叶わなければこの圏域の医療崩壊にもつながりかねません。</p> <p>今後も地域の医療提供体制を堅持するため、当院への医師派遣についてご検討賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>令和6年度 外来患者延べ数 26,207人（うち内科 2,151人） 入院患者延べ数 74,859人（うち一般病棟および地域包括ケア病棟の内科入院患者延べ数9,128人） 内視鏡検査件数（上部181件、下部92件）</p>	Ⅱ	10	11																				

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)	
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7
津和野町	津和野 共存病院 (49床)	3	2	3	<p>公立医療機関で地域医療拠点病院に認可された津和野共存病院は、町内で唯一の入院施設を有する病院であり、地域包括ケア病床36床と一般病床13床の合計49床を有しています。在宅医療（介護施設も含む）の受け皿としての急性期医療（在宅療養者の急増への対応）や、機能回復および維持のための亜急性期～慢性期医療・リハビリテーション機能を携えています。また、同一施設内に介護老人保健施設、津和野町の機関（医療対策課、地域包括支援センター）を併設し、地域の医療・介護を支える拠点となっています。</p> <p>医師不足の為、平成18年12月に救急告示病院を取り下げましたが、受け入れ可能な日中の救急患者（5人/日程度）については現在でも対応しています。津和野共存病院は、隣県を含めた中山間地域にとっても必要とされており、外来患者約80人/日、入院患者約42人/日の診療、日中の救急患者の受け入れ、通院が困難な在宅療養患者（25人/月）及び特別養護老人ホーム（100人/月）への訪問診療、無医地区への巡回診療（24人/月）を行い、訪問看護（90人/月）が在宅療養を支えています、訪問リハビリテーション（55人/月）では自宅での生活様式に合わせてストレッチ・転倒防止体操・バランストレーニング等を実施しています。又、町内のほか益田市、吉賀町の事業所依頼も含め健康診断（年間1900件）、予防接種、町健康相談事業や保健事業への協力などを行い、地域包括ケアの推進に取り組んでいます。また、日原診療所は、主に津和野町及び隣接する吉賀町、益田市の住民に対応し、非常勤医師3名（津和野共存病院の常勤医師派遣）による5日/週外来診療（患者数30名/日）訪問診療（16名/登録）予防接種を実施しています。</p> <p>平成30年10月以降、日原地域の開業医が閉院し町民の不安が増す中、医療を守り町民が安心して生活できる環境を整えるために、津和野町施設を診療所として増改築し令和4年3月に移転、新たに簡易検査機器、レントゲン装置を設置し、地域の医療と住民の健康維持を担う重要な医療機関となっています。</p> <p>現在7.5名（0.5名は老健兼務のため）の常勤医師体制ですが、1名は70歳を越え入院・外来等一般診療を行わず専ら検査と読影を担う放射線科医師です。1名は66歳で臨床経験に乏しく外来・入院対応は困難で、老健を兼務し健診や予防接種、夜間外来のない週1回の当直を行っています。</p> <p>実質的に外来・入院・土日休日直は若手医師の4人で対応する状況にありますが、そのうち3人は幼い子供を育てていることもあり、当直回数の軽減に努めるとともに過度の負担がかからないように益田赤十字病院や島根大学医学部付属病院に非常勤医師の応援を依頼し、なんとか診療体制を維持しています。しかしながら、令和8年3月末には若手医師1名の退職が決まっております。</p> <p>津和野共存病院は地域医療拠点病院の指定を令和4年3月に認定され、町内無医地区への対応等も令和4年7月より月2回の巡回診療（患者12人/日）を実施し（令和5年10月からは月4回）、津和野町の医療をなんとか守るとともに、県内総合診療医の育成の一助となるように、研修医の地域医療実習や学生の実習を積極的に受け入れており、これらを継続し併せて町内無医地区への対応等を行うためには、少なくとも現在の若手医師4人の体制を維持していくことが必須であります。また、津和野独自の奨学金制度を設けるとともに地域枠推薦医師や僅かでも望みのある若手医師を中心に働きかけを行っておりますが、来年度には叶わないのが実情であります。</p> <p>当院の存在・機能は、この圏域にとってなくてはならない医療機関となっており、義務年限内の医師3名の若手医師派遣を強く要望する次第であります。</p>	I	7	8

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)	
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7
吉賀町	よしか病院 (50床)	2	1	2	<p>よしか病院は、吉賀町内唯一の入院機能を有する公立医療機関として運営しており現在は、地域包括ケア病床35床と一般病床15床の合計50床で運営しています。</p> <p>また、町内の在宅医療（介護施設も含む）の受け皿として、急性期医療（在宅療養者の急増への対応）や、益田赤十字病院の後方病院として回復期医療・リハビリテーション機能を担っています。</p> <p>外来診療は、総合診療科を中心としながら、高齢化地域において医療需要の高い、整形外科、眼科、皮膚科の他、小児科、精神科、歯科口腔外科を開設しています。また、同一施設内によしか介護医療院、社会福祉協議会が運営する吉賀町訪問看護ステーション及び町の機関である吉賀町役場医療対策課を併設しており、地域の医療・介護を支える拠点となっています。</p> <p>よしか病院は、益田・鹿足圏域はもちろん、隣接する岩国市も含めた中山間地域にとって必要とされており、外来患者約74人/日、入院患者約38人/日の診療にあたっています。更に、通院が困難な在宅療養患者への訪問診療（約24人/月）を行い、在宅医療を支えています。併せて、訪問・通所リハビリテーション（約295人/月）で身体機能の維持・向上をさせることも実施しています。</p> <p>また、町内を中心として圏域の事業所依頼も含めた健康診断、予防接種、町の健康相談事業や保健事業への協力などを行い、地域包括ケアの推進に取り組んでいます。この他、地域で行われている高齢者の健康サロン等に出向いて、病気のことや普段から心掛けることなど住民の意識向上につなげる取り組みも行っています。</p> <p>現在、地域医療拠点病院の指定に向けて諸準備を進めており、令和8年1月より、町内において無医地区（上高尻・下高尻地区）への巡回診療開始を予定しています。</p> <p>救急医療体制の面では、医師の働き方改革が令和6年4月から施行されたことに伴い24時間の対応をすることは不可能な状況にあります。このため、日中の時間帯は365日対応していますが、夜間については圏域内の益田赤十字病院等に頼っている状況にあります。</p> <p>現在、常勤医師6名（院長、歯科口腔外科医師を含む）の体制で診療にあたっていますが、1名は介護医療院兼務のため医科の対応は常勤医師4.5名で対応している状況です。この体制で全ての宿日直対応は不可能なため、益田赤十字病院や島根大学医学部附属病院の協力を得て宿日直体制を維持しているところです。しかしながら、令和8年3月末に常勤医師2名が退職予定となっております。</p> <p>現状の医療提供を維持・継続していくためだけでなく、今後、この地域の医療において重要となる在宅医療（訪問診療）の強化や巡回診療を開始していくためには、常勤医師の減少は避けなければならない、むしろ医師の増員が必要な状況です。</p> <p>当院では、地域医療を守ると同時に、県内総合診療医等の育成の一助となるべく島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院の専門医研修プログラム連携施設、益田赤十字病院の臨床研修協力施設として受け入れ体制を用意しており、一人でも多くの若手医師によしか病院で診療を経験していただき、将来的な勤務医の確保につながればと考えています。また、当院並びに吉賀町が協力し、大学等に医師の確保に向けたお願い等も行っていますが、現状では目途が立っていない状況にあります。</p> <p>当院は町内唯一の入院機能を有する病院として重要な役割を担うとともに、医療・介護の連携、益田・鹿足圏域の機能分担等においてもなくてはならない医療機関です。現在、1名の医師派遣をいただいておりますが、地域医療の継続のため、是非とも、加えて新規で1名の医師派遣を強く要望する次第であります。</p>	I	6	5

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)	
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7
隠岐の島町	隠岐広域連合立 隠岐病院 (115床)	5	5	5	<p>当院は、隠岐医療圏の地域医療拠点病院として、限られたマンパワーの中で、島でできる医療の提供に向けて日々取り組んでいます。離島という厳しい地理的条件、超高齢化の進行する中、地域医療における当院の果たす役割は益々高まっており、特に自治医科大学出身の県派遣医師の存在は、離島医療を維持していく上で不可欠なものとなっています。</p> <p>総合診療科では、高齢の患者、抗がん剤治療を必要とする患者の増加により、診療需要が年々拡大しています。外来患者数も同規模病院と比較して非常に多く、さらに常勤医不在の診療科（耳鼻科、泌尿器科、皮膚科）におけるプライマリ・ケアを担い、専門医の診療を必要とする前の初診も受けるとともに、医療提供が必要な在宅医療も推進するなど、「この島に住む安心の医療」を提供できるように常に先頭に立って対応しています。</p> <p>加えて、総合診療科を中心に救急外来対応（令和 6 年度（ ）内は前年度：救急車受入件数 606件（514）、休日及び時間外患者数 4,495 人（4,203））、内視鏡等の検査（令和 6 年度実績：上部 1,598 件（1,501）、下部 428 件（408））、透析、リハビリなど様々な業務も兼務し、また宿日直（1人あたり月 4～5 回程度）や診療科の待機および在宅診療コール対応など、限られた人数で多岐にわたる業務を行っており、精神的・身体的負担は大きくなっています。</p> <p>診療所（6 か所）も、住民が地域で安心して暮らすために欠かせない拠点です。令和 6 年度より病診一元化を開始し、隠岐広域連合として一体的な医療提供体制の構築を進めていますが、医師の確保は依然として困難を極めていきます。令和 7 年度には、隠岐病院に 4 名、都万診療所に 1 名の計 5 名の派遣をいただき、島の医療体制を維持してまいりました。しかしながら、令和 7 年度末には五箇診療所の医師が退職予定であり、令和 8 年度には、診療所 2 か所で各 1 名ずつ、計 2 名の医師が新たに必要となる見込みです。このうち 1 名については、島根県からの医師派遣により対応したいと考えております。</p> <p>病院所属医師が病院と診療所双方で診療することにより、病院では専門性を活かし、診療所ではかかりつけ医として地域に密着した医療を提供しています。この連携により、患者の病態等に応じた適切な振り分けや施設訪問診療の実施が進み、地域住民の通院負担軽減、病院外来の混雑緩和など、地域医療全体の質の向上につながっています。しかし、医師数が減少すれば、病院・診療所ともに診療体制が危機的状況に陥るため、医師招聘には重点的に取り組んでいます。非常に厳しい状況にあります。</p> <p>つきましては、地域医療構想に基づく病床数や将来推計等を踏まえ、隠岐病院における 4 名体制の継続に加えて診療所 1 名分を含めた合計 5 名の派遣を令和 8 年度も継続してお願いします。</p>	I	20	20

市町村	医療機関名	R 7		R 8	要望理由	派遣方針 (優先順位)	常勤医数 (10月1日時点)	
		要望 ①	派遣	要望 ②			R6	R7
西ノ島町	隠岐広域連立 島前病院 (44床)	2	2	3	<p>隠岐島前病院は、隠岐島前地域の3島唯一の病院であり、病院勤務医はブロック制により島前各診療所での診療にも従事するなど、地域医療拠点病院として島前地域の医療の中核的な役割を担っている。</p> <p>島前病院への県派遣医師は院長を含めた7名で、前述の通り医師確保が困難な知夫診療所、浦郷診療所、へき地三度診療所、海士診療所への医師配置等を包括的に管理したブロック制で運用している。これらの診療所への恒常的な医師派遣のため、島前病院における常勤人員は、独自採用の1名と県派遣医師の4名の合わせて5名で、そのうち義務年限内の医師は2名である。</p> <p>病院の令和6年度の入院患者数は年間延べ人数8,520人で外来患者数は、常勤医の担う内科(13,261人)、小児科(1,429人)、外科(6,384人)で年間延べ人数21,074人である。常設の診療科は内科2診と外科1診であるが、外科を内科医が兼務しており、内科外来では医師1人あたり約27.5人を、また、外科外来では医師1人あたり約26.4人の外来患者を診察している。</p> <p>診察時間は13時頃までと遅く、患者数によっては16時頃まで診察する場合もある。また、病院医師は、消化器・循環器・呼吸器等、内科全般にわたり総合医の役割を担って診察しており、病院・診療所での診療のほか、胃カメラ・エコー等の検査にも従事するなど、少ないマンパワーで多忙を極めている。このほか、隠岐島前病院では在宅医療の支援体制を推進しており、医師の訪問診療等や西ノ島町内の老人福祉施設への往診も行っている。</p> <p>これらのことから、現状の診療体制の確保のため少なくとも地域医療支援会議の派遣医師3名は必要であり、2名の継続を希望する。</p>	I	5	5
海士町	国民健康保険 海士診療所	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象患者数(海士町人口)約2,252名(令和7年6月30日時点)</li> <li>高齢化率 38.3%</li> <li>診療件数 1日平均75.3名(令和6年度データ)</li> </ul> <p>無床診療所です。 現在、常勤医1名(68歳)と非常勤医3名(隠岐島前病院協力)の2診体制で行っており、夜間、土日の救急対応については、2名の医師が日々交代制で行っております。令和6年度実績ですが、1日あたり平均患者数は75.3名、時間外の月平均13名、深夜の月平均3名、土日直1日平均7名、救急車の搬送受入は年間50件です。また、特養や認知症グループホームの回診対応、在宅診療、健診業務、乳幼児健診、学校健診、予防接種全般も行っております。</p> <p>医療を継続するためにも、また、医師の負担軽減にも医師派遣をお願いいたたく要望いたします。</p>	I	2	1
合 計		32	16	34				